

赤平中央中学校校区通学路の要対策箇所一覧表

箇所番号	危険・緊急度	路線名	箇所名	通学路の状況・危険内容	対策内容	事業主体	実施状況【実施済・実施中・検討中・未実施】
赤平中央中①	A	国道38号	中央バス「30線」バス停～旧森林管理署付近	<ul style="list-style-type: none"> 赤平方向の車線側に歩道がなく路肩も狭い状況で、徒歩通行が困難。 「30線」バス停でバスを待つ場所がない。 交通量が多く大型車両の通行も多い。 冬期間は雪の影響で路肩もなくなる。  	<ul style="list-style-type: none"> 赤平方向の車線側に歩道設置を要望する。 学校で、バスが来るまでの間は市道30線の交差点付近の広がっている場所で待つようによるよう指導する。 <p>(合同点検)</p>  <p>(平成28年度 合同点検・確認)</p>  <p>路肩を広げ約100m歩道を設置。 工事完了後のバス停を確認。</p>	学校 学校 国	<p>(国)</p> <ul style="list-style-type: none"> 暫定対応として、平成26年10月31日にバス停で待つ箇所について盛土を行う。 <p>平成27年度 現地調査及び設計を実施。</p> <p>平成28年度 歩道設置工事を実施。</p>

危険・緊急度 A：緊急に対応が必要（児童生徒・ドライバー等が危険を認識し注意しても事故の発生が予想される箇所、事故歴がある箇所等）
 B：速やかに対応が必要（児童生徒・ドライバー等が危険認識を欠如した場合に事故発生が予想される箇所、事故に至らないが危険を感じたことがある箇所等）
 C：安全のために対応が必要（危険性は高くはないが、改善の必要があると判断される箇所、事故の可能性のある箇所等）